

コーナー展

郷土玩具趣味とは何だったのか？

— 戦前の趣味家と蒐集趣味 —

郷土玩具趣味は、近代日本において生まれるべくして生まれた…。

素朴さや古風さへの憧憬、欧化熱と江戸情緒、蒐集欲、子ども観、図鑑化・地図化、「郷土」という国民国家内部の多様性に関する言説、あらゆる近代の価値を吸収していく郷土玩具蒐集趣味は、昭和初期に黄金時代を迎えた。その時代は、民話採集や民俗芸能、童話や童謡の創作、民芸運動、農民美術運動等が展開した時代であり、なにより民俗学が誕生した時代であった。

郷土玩具趣味とは何だったのか…、この展示では当時の資料から振りかえることで、私たちの心をつかんで離さない“郷愁”がどのように生まれていったのかを考えてみたい。
(歴史学科准教授 加藤幸治)

開催期間：平成 23 年 11 月 19 日（土）～

平成 24 年 3 月 31 日（土）

展示資料：『うなるのとも』『梵雲庵雑話』『共古随筆』『こども風土記』『民具調査蒐集要目』、玩具の見立て番付、児童博覧会絵葉書、おしらさま、その他

※展示は、「博物館実習」の一環で製作しました。



同時開催

パネル展示 「東北学院大学の文化財レスキュー活動」

東北学院大学博物館は、国の「被災文化財等救援委員会」の一時保管施設です。本学教員と学生・院生、他大学からのボランティアなどが、これまでどのような活動をしてきたのか、これから何が課題なのかについて、パネルで紹介しています。

※この展示と同じパネルは、被災地でも掲示されます。



東北学院大学博物館

地下鉄五橋駅から愛宕上杉通りを愛宕橋方面へ徒歩 5 分

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目 3-1

TEL 022-264-6920

URL <http://www/tohoku-gakuin.ac.jp>